



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2009.7.10 Vol.121

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



中国大学サッカー選手権優勝 総理大臣杯出場

特集

20年度就職状況 就職率96.3パーセント



特集 卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
地域連携活動	4
学生の活動	5
研究の今	7
教育の今	8
学内トピックス	9
施設のご案内	11
インフォメーション	12
国際交流瓦版	13
学友会短信	13
学内人事	14
財務状況	14
平成22年度 入学試験の概要	15

20年度就職率96.3パーセント

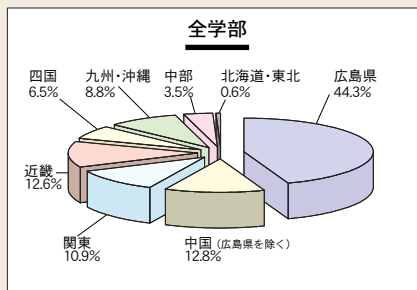
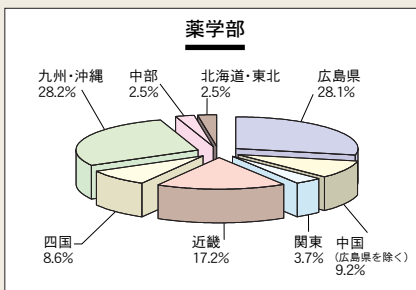
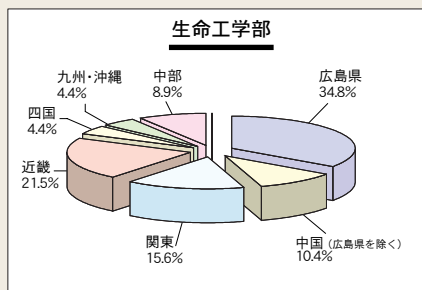
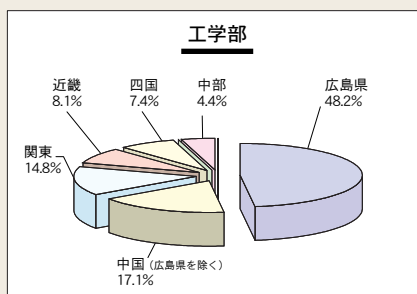
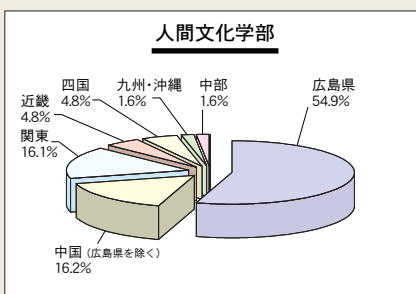
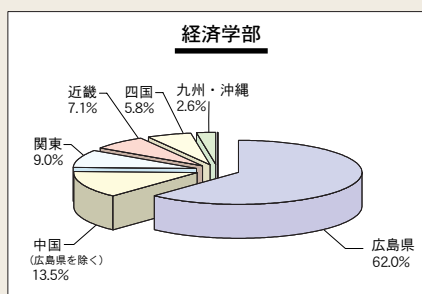
今春の卒業生の就職率は96.3%であり、昨年度の97.8%を1.5ポイント下回りました。昨年後半の世界金融危機が実態経済に深刻な影響を与え、国内経済も急激に悪化し、それが後半期の新規卒者求人数の減少に繋がったことが主原因です。全国大学の就職率は95.7%(前年度比-1.2ポイント)、中国・四国地区大学は93.7%(前年度比-4.4ポイ

ント)となっており、本学はこれらの指標をいずれも上回ってはいます。しかし、政府の「底打ち宣言」(6月)はなされたものの、備後地域の経済状況は現時点でも回復の兆しが見えるとは言えず、就職活動中の現4年生は厳しい現実直面しています。

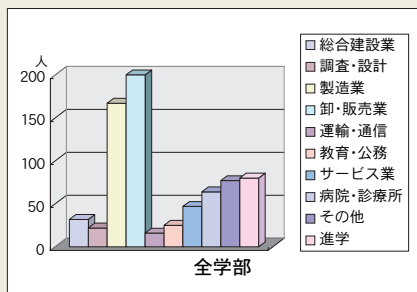
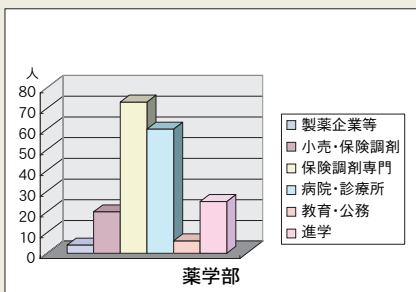
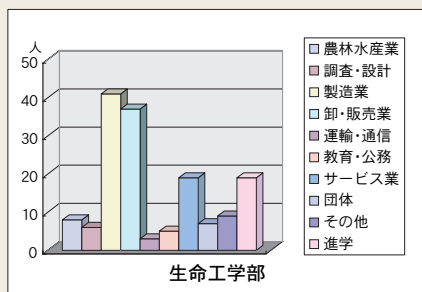
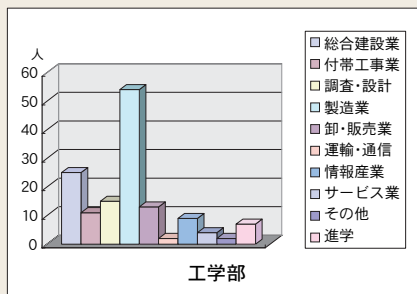
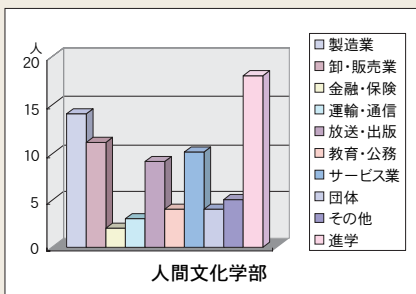
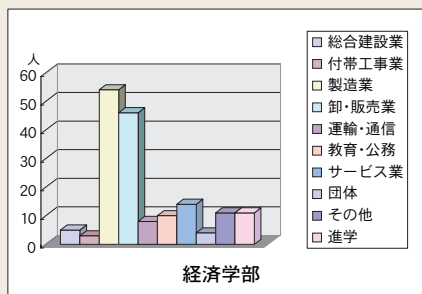
学生の皆さんは、1年次からの必修科目「キャリアデザインⅠ」の学

習や、2年次の学部独自のキャリア教育、3年次の就職ガイダンス等、系統的に用意されている就職支援体制を十分生かし、自己の生き方に即した進路設計を早期にしかも鮮明に描き、主体的に活動することが肝要です。20年度卒業生の各学部の地域別、業種別(大学院等への進学を含む)の就職状況は下の通りです。

平成20年度 地域別就職状況



平成20年度 業種別就職状況



実践力を高める就職支援の取組み

福山大学では、学生一人ひとりが一般教育ならびに専門教育において修得した知見をベースにし、それを4年間にわたって計画的に展開するキャリア教育と結びつけ、自己の進路を主体的に切り開いていくためのきめ細かな支援を、担任、ゼミ・卒業研究担当者、就職委員の先生、就職課職員が中心となつて、理論面、実践面の両面から精力的にサポートしています。以下に示すのは主に3年次の支援内容です。

1. 就職ガイダンス

第1回就職ガイダンス 5月

- ①職業選択の意義、自己理解と仕事理解
- ②就職試験対策の基本

第2回就職ガイダンス 6月

一般常識テストの実施と自己の基礎知識・

能力の把握

〈Web登録〉 6月

就職サイトの活用方法の指導

第3回就職ガイダンス 7月

フォローアップ講座(外部講師による指導)

- ①一般常識テスト結果の生かし方
- ②採用試験の評価の観点や基準について

第4回就職ガイダンス 9月

- ①進路希望票の作成準備について
- ②企業選択、企業研究の進め方
- ③企業の採用活動に合わせた就職活動について

第5回就職ガイダンス 10月

SPI適性検査の実施

- ①自己の能力や適性の客観的把握
- ②採用試験頻出問題とその対策

第6回就職ガイダンス 11月

フォローアップ講座(外部講師による指導)

- ①適性検査結果の生かし方について
- ②自己PR・志望動機について

第7回就職ガイダンス 11月

- ①就職活動のポイント
 - ②就職活動のための基本的なルール
- 第8回就職ガイダンス 11月・12月
就職活動体験発表会

2. 就職対策講座

- (1)新聞の活用講座 10月
- (2)小論文試験対策講座 11月
- (3)履歴書・エントリーシートの書き方講座 11~1月
- (4)就職面接講座(外部講師による指導)

3. 保証人との就職懇談会

経済学部・人間文化学部 11月
工学部・生命工学部 1月(予定)

4. 学内「合同企業説明会」 2・3月

県内外の優良企業を招き、企業説明会を実施
(昨年度は2月20日、3月3日、11日に実施
参加企業216社)

5. 単独企業説明会

4年次の4月以降、希望する学生を対象に個別の企業説明会を実施し、早期内定を支援

採用内定者のコメント



経済学科 4年
佐古 大知
内定先
株式会社エフピコ

面接は、質問に答えるという機械的な作業のせいか、面接官は自分とは何処か違う存在に思えてしまいます。しかし、数多くの企業を受けていくうちにあることが分かってきました。それは、人事部の方も私達と同じ人間で、好みがあるということです。

私は毎回、同じような感覚で面接に臨んでいました。しかし、それでも企業の大小に関わらず、落ちる所と次の選考に進める企業がありました。大小に関わらずです。

何が言いたいのかと言うと、元気な学生を好む企業もあれば、誠実そうな学生を好む企業もあるということです。そう人事部の好みなのです。

だから1社2社立て続けに落ちたからと言って、落ち込まないでください。企業は星の数ほどあります。その中から自分の良さを分かってくれる企業を探すことが就職活動だと思います。



海洋生物工学科 4年
木村 奈美
内定先
株式会社
ブブレひまわり

私が就職活動を始めたのは11月頃からです。まずは合同企業説明会に参加し、関心のある化粧品・薬品販売の業種から積極的に探しました。私が会社を選ぶときに最も重視したのは、入社後のスキルアップサポート制度などで企業が社員を成長させるかどうかという点でした。人事の方にいろいろな質問をぶつけてみたところ、一番魅力を感じたのが内定先の企業でした。活動中に苦労したのは面接です。最初は不安と緊張ではっきり話せませんでしたが、友達と何度も面接の練習をすることで、本番では緊張しながらも自信をもって対応できるようになりました。就職活動では多くの人と出会い新しい刺激を受けることができ、よい経験となりました。就職活動を苦と思わず楽しむことが大切だと感じています。



大学院
薬学研究科
医療薬学専攻
石川 真理子
内定先
武田薬品工業株式会社

私が本格的に就職活動を始めたのは夏でした。早々とエントリーした就職活動サイトを通じて、インターンシップに積極的に参加しました。早くからインターンシップに参加している人というのは、就職活動に対して意欲的な人ばかりです。私は常に会場で最前列に座り、友達を作って情報交換を行いました。やはりどの場面においても“積極性”というのは重要です。

そして面接においては、自分を如何に上手くアピールできるかがポイントとなります。常に「笑顔で元気よく」を忘れないで下さい。当初は面接で緊張し上手くいかないこともありましたが、多くの仲間と面接練習を繰り返し、幾度も改善を行う毎に選考を通過する様になりました。

仲間と支え合い、自分に自信をもって臨めば必ず道は拓けます。就職活動を思う存分楽しんで頑張ってください。

20年度4月からスタートした、4学部共通の必修専門科目「キャリアデザインI」

「キャリアデザインI」の必修専門科目は、経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部の4学部とキャリアセンターが連携して行う、1年次生を受講対象としている新しい授業です。

授業内容(キャリアセンター担当)は、以下の通りです。

- ・1年次生から「充実した大学生活」と、社会進出のための「就職」を動機付け
- ・夢や目標を持つことの大切さ
- ・今、社会から求められる人物像について
- ・今、企業・社会が求める「人間力」
- ・自己分析と職業選択
- ・面接を成功させるポイント
～基本マナーと自己アピール～
- ・企業が求めるコンピテンシー面接
～PDCAサイクルなど～
- ・面接の種類 個人・集団・グループ・

ディスカッションなど

- ・自己の生涯設計についての、「キャリアプランの立て方」
- ・授業を通して、保証人と学生との対話を促進

学生の受講態度には熱意を感じ、熱心にメモをとったり、真摯な姿勢で授業に取り組んでいる姿が実感できます。授業の最後に、「自己の将来像とキャリアデザイン(人生設計)について述べよ」との小論文の試験を行っていますが、予想以上の中身で、今後の大学生活、社会進出に向けて、自己の将来像を目標に、各年次に、資格取得も含め、どのレベルにまで自分を到達させていくか、「やる気」を出した、大勢の学生の姿が小論文に滲み出ています。

また、自己の将来像について、保証人と対話した内容も踏まえ、答案を書いている学生もいます。

学生への熱きメッセージ

このような授業を通して、自己の将来の多様な可能性に、是非、夢を描き行動を起こしてください!



人間文化学部のグループディスカッション:
テーマは「派遣切り」対策の雇用問題について

新入生合宿オリエンテーションの成果・反省・展望

仲間と打ち解け合えた！

私の入ったスポーツマネジメントコースには、女子が2人しかいないということもあり、入学してからすぐの合宿はとても不安でした。しかし、同じ部屋になった他コースの人ともすぐに仲良くなれて、たくさんの友達を作ることができました。また、食事の時には、隣に座った同じコー

スの男子が声をかけてくれて、コースのみんなとも打ち解けることができました。1泊2日ではなく日数を増やしたり、グループで何かをしたりすれば、もっと楽しくなるのではないかと思います。

経済学科

スポーツマネジメントコース 1年

小林 朱里



これからの夢に向かって



大きな希望を胸に、迎えた入学式の後、私たち人間文化学部・心理学科の35人は尾道ふれあいの里へ出発しました。

到着して早々、親睦のために自己紹介を行いました。笑いあいながら和気藹々とできました。その後は、体育館へと移動して、ドッジボール大会が開かれました。今日話したばかりとは思えないほどのチームワークの良さを発揮したチームもあり、みんな一生懸命に取り組みました。途中

休憩している時間にも、似たような目標を持っていることから、自分の将来を語りあう姿も見られました。自分の夢だけではなく友人の夢も知ったことで、お互いに背中を押し合える仲間になれたらいいと感じました。ここでの思い出を忘れずに、これから4年間しっかりと進んでいきたいと思っています。

心理学科 1年 竹元 あゆみ

新たな出会い、新たな体験、新たな出発

4月9日、機械システム工学科の新入生37名は、先生・先輩達と共に備後ハイツに到着しました。自己紹介に始まり先輩を囲んでの懇談まではよそよそしかった雰囲気、グループ討議の辺りから変わってきました。NASA作成の『月面に不時着した時に必要な品物は？』というユニー



クな設問に、話が弾み出し徐々に打ち解けることができました。その後は雰囲気も良くなり翌日のJFEの工場見学を終えた頃には親しい友人や仲間もできる程、有意義なオリエンテーションとなりました。

機械システム工学科 1年 船越 元気

恒例栄養カルタ大会で盛り上がる



入学後の緊張もまだ残るなか、私たち生命栄養科学科28名は、先生方や先輩とともに新入生合宿オリエンテーションに出かけました。

硬い表情だった学生もソフトバレーボールや懇親会で次第に打ち解け、何と言っても先生自作の栄養カルタ大会ではユニークな問題満載で笑いが絶えず、大いに盛

り上がりました。お陰で一挙に親しくなった気がします。

管理栄養士への第一歩を踏み出し、不安もありますが仲間たちと精一杯頑張っていこうと思います。

生命栄養科学科 1年 今井 千種



社会に貢献できる薬剤師をめざして

入学してまもなく新入生合宿オリエンテーションを行うことになった私たちは、初め不安でいっぱいでした。しかし、この合宿が終わるころには知り合ったばかりの仲間と自然に打ち解け、集団行動の大切さも身につけていました。現在、多くの場で医療が必要とされています。その中で、自分に何ができるかを考え、行動に移せる薬剤師になるための一歩を、この合宿を通して踏み出すことができた私は確信

しています。



薬学部 1年 片山 佳織

地域連携活動

— 地域への貢献 —

社会連携研究推進事業

プロジェクト2:「化学・生物総合管理学の社会連携教育研究」

平成21年度の本プロジェクト(代表:生命工学部菊田安至教授)は、全国12の大学や研究機関で取り組んでいる社会連携事業「知の広場」に参加しています。また、大学院工学研究科博士前期課程の単位認定科目でもあります。本年度は昨年度から内容を拡大し、6テーマで取り組みます(詳細は<http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/pj2/>)。6月6日(土)には早速、この内のテーマ(1)「機能性成分のベネフィットとリスク及びリスク評価・管理の実践」に係わる集団学習会が社会連携研究推進センター301教室でとりおこなわれました。

本学教授陣(生命工学部里内清教授、他)に加え、学外から専門の講師(東京海洋大学大学院矢澤一良教授、(独)農業食品産業技術総合研究機構杉山純一計測情報工学ユニット長)を招き、「機能性成分の有効性とリスク」、「ヘルスフードの探索から開発までのRisk/Benefit Balance」、「情報と農産物の安全・安心」等の基調講義がなされ、様々な方面から機能性食品の安全性、食品素材の信頼性、機能性食品開発の理念が論じられました。基調講義をもとに集団討論会が持たれ(写真)、活発なディスカッションがなされました。食品製造

業開発担当、ドラッグチェーン店統括担当、管理栄養士など多彩な業界から参加され、本学大学院生もこれに加わりました。

以後、各テーマの集団学習会が開催され、実験・実習等、カリキュラムが進行し、来年3月の公開講座で完了します。詳細は左記URLを参照。



生物工学科 教授 原口 博行

初等中等教育における物作りによる工業技術者の育成に関する研究(PJ8)について (Science Lab)

工学部

日本には殆んど資源がないため、人的資源、すなわち技術を持った人間が日本を支えてきました。いわゆる、工業立国日本がこれまでの日本でした。現在、それが様変わりして理系離れが深刻となってきました。物作りには技術は勿論不可欠ですが、その前に物作りを志す人間がいなければ物は作れません。今、日本の物作りは、技術はあるものの、継承すべき人が減少していています。この現状に対して、若い世代に物作りの面白さを実感させるプログラムを用意して、理系を選択してもらうよう様々な工夫を凝らして理系の面白さを伝えていく必要があります。このPJ8では中学や高校では実験ができていない内容を大学の施設を使い、スタッフたちが

分かりやすく解説して、大学生たちの手助けにより生徒たちに実際に実験をやらせようという斬新な実験型の学習プログラムを実行しています。内容はこの実験型の学習プログラムを4テーマずつ計4回、合計16の実験型学習を中高生の生徒たちに体験してもらうというものです。(昨年の例)

第1回(6月15日(日))

- ・ウインドカーを作ろう
- ・アサリの浄化能力を調べてみよう
- ・エネルギー資源と省エネ
- ・化学実験「発色する化学」

1枚の紙を使って強い構造模型を作る



第2回(8月9日(土))

- ・血液型の鑑定
- ・漢方薬『葛根湯』をつくる
- ・危ない薬
- ・DNAの分離にトライ

第3回(11月9日(日))

- ・海洋動物の形態観察
- ・ミルキークイーンの美味しさに迫る
- ・酵素を使っていろいろな食品の糖度を測定しよう
- ・バベルの塔はなぜ潰れたか

第4回(2月14日(土))

- ・はっぱの化学分析
- ・コンクリートの不思議
- ・液体窒素・ドライアイスの性質と利用
- ・解熱鎮痛剤ってなに？

工学部 教授 中山 昭夫

市民フォーラム“平成21年度 食と健康のライフサイエンス” 生命工学部 生命栄養科学科

生命栄養科学科は、昨年4月、広島県東部に唯一の管理栄養士の養成課程として、食品工学科、応用生物科学科を前身に誕生しました。

生命科学と食品科学などの学際的な視点から栄養学を多角的に捉え「食」と「健康」の相互関係を深く理解し、広い視野、高度な技能を身につけ、社会

の多様な領域で活躍できる食と健康のスペシャリストとしての管理栄養士の養成を目指しています。社会連携としては、福山市保健所や教育委員会、栄養士会など関係機関と協力しながら食を通じて健康な生活を維持、向上させるための情報を継続的に地域の方々に発信していきたいと考えています。

昨年6月、今年1月の講演会は参加者が、各々170名、113名と好評でしたので、今年度は、「食と健康のライフサイエンス」をメインテーマに4回シリーズの市民フォーラムを6/20から開始しました。今後、8/8、10/3、11/28と続きます。いずれも土曜日14時～16時です。

今年度第1回「食の安全と安心」は100名参加で、熱心な質疑応答がありました。福山市教育委員会・学校保健課管理栄養士・児玉智恵子先生から、「福山市の学校給食における食物アレルギーの対応」は、人の個性を認める点でも重要で、医師、保護者、教員と連携しながら、きめ細やかに行われていることが、講演されました。本学科の倉掛昌裕教授からは、「食品の表示」から安全と安心に食生活する情報をどう読み取るかが講演されました。

次回8月8日(土)ご期待ください。

生命栄養科学科 教授 山本 英二



講演風景

サッカー部総理大臣杯出場

2009年度 中国大学サッカー選手権大会

サッカー部は「2009年度中国大学サッカー選手権」において8年ぶり4度目の優勝を飾り、8月1日より開催される「第33回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」に中国地域代表として出場します。

中国大学サッカー選手権では、1回戦広島工業大学に2-0、2回戦島根大学に2-0、準決勝広島修道大学に1-0、そして6月1日の決勝戦では徳山大学に3-0と快勝、無失点で優勝を飾ることができました。

今年のチームはキャプテン岡本彰泰（経済学科4年）を中心に90人の部員全員が前向きで積極的な行動を取れる



優勝後「POSITIVE ACTION」にて



べく「POSITIVE ACTION」を合言葉に、チーム立ち上げ時から全国大会優勝を目標にトレーニングに励んできました。したがって中国予選では選手た

ちは非常に落ち着いて力を発揮できました。それも全国大会決勝戦、その舞台で活躍できる人間を目指した結果だと思っています。

私たちサッカー部は目標を達成したのではなく、これからが目標に向かってのスタートとなります。

総理大臣杯は8月1日より大阪府下にて全16チームによって争われます。福山大学の1回戦(1日15:30鶴見緑地公園球技場)は関西代表の大阪学院大学です。強豪の関西地区を勝ち抜いたチームですので非常に強いチームではあり

ますが、自分たちの力を信じ、感謝の気持ちを胸に精一杯チャレンジしたいと思います。ご声援よろしくお願いいたします。

また、サッカー部は様々なカテゴリーに分かれ活動しております。HPに詳しく掲載していますのでご覧ください。

福山大学サッカー部HP

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/student/circle/soccer/>

経済学科 准教授 吉田 卓史

3000m障害優勝

第63回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

私は5月15日(金)～17日(日)に行われた第63回中国四国学生陸上競技対校選手権大会で3000m障害に出場しました。昨年はこの種目で本学の正木先輩(大学院工学研究科生命工学専攻)が3連覇し、私は3位でした。

その正木さんが卒業した事もあり、自分も昨年よりは力もついてタイムも伸びてきたので、「今年こそは」という気持ちで、この大会の為に練習してきました。しかし、大会前の一ヶ月間ほど故障が続き、あまりよい練習ができず、多少の不安もありました。レースにおいても、途中で苦しくなり一度は離れあきらめかけましたが、後輩や先輩などいろいろな人の応援もあって、

最後に抜き返す事ができました。ゴールした後自分が1位とわかった時はとても嬉しかったです。このレースに勝てたのは、私一人の力ではなく、やはり先生や部活動の先輩、後輩の力が大きいのだと感じました。そして、何よりもこれまで陸上をやらせてくれた



3000 m障害の表彰式 (中央: 岡田)

両親、そして、いろいろな方の協力によるものだと、とても感謝しています。この結果、9月に行われる第78回日本学生陸上競技対校選手権大会に中国四国地区代表として出場することになりました。全国という舞台上で走るのは初めての事なので、今の自分の力がどこまで通用するのか試してみたいと思っています。また、出場するからには自分のベストを尽くし、代表として恥づかしくないよう精一杯頑張りたいです。そして秋に向け、陸上部としてチーム一丸となり全日本大学駅伝出場を目指し頑張りたいです。

経済学科 3年 岡田 泰平

世界跆拳道選手権大会に初出場

この度、本年8月広島市で開催される第5回世界跆拳道選手権大会に初出場するにあたり、この場を借りて皆様に跆拳道についてお話できる事をうれしく思います。

簡単に説明しますと跆拳道は、沖縄空手の玄制流空手の創始者祝嶺正猷が昭和40年に創られた武道です。特徴としては、動きが空手とは全く違い、とてもスピーディーで体全体を使って技を出します。跆拳道はすごく若い人向きで、バク転やバク宙を難なくこなしていきます。実際に見るとアクション映画のように動きが激しくとても格好良いです。

私が跆拳道と出会ったのは小学1年生の時です。初めて試合に出たのは小学

3年の時で初戦敗退でした。負けた時には、特に悔しいとは思いませんでした。歳を重ねるにつれて負けたくないという気持ちが強まり、小学6年、中学3年と優勝する事ができました。昨年10月には全国学生大会の法形競技の部で念願の優勝を果たす事ができました。その結果、世界大会の最終選考会へ推薦され、そこで私の技量が認められ日本代表に選ばれました。

この日本代表はみんなに支えられて実現したものだと思います。しかし、世界の頂点を目指すにはまだまだレベルアップが必要です。残された時間で、一つ一つ課題をクリアしていき、大会当日にはベストコンディションで試

第5回 世界跆拳道選手権大会

合に臨む決意です。世界レベルで自分がどこまでできるのか楽しみです。自分自身が世界の頂点に立ち、「跆拳道をメジャーなスポーツにしていきたいです。



情報処理工学科 4年 大本 雄介

第5回公共広告機構CM学生賞コンテスト優秀賞受賞

メディア情報文化学科

AC(公共広告機構)が開催する、第5回公共広告CM学生賞で、メディア制作サークルGood Jam Factoryの学生チーム(宮迫 裕、住元 謙太、望月 万靖(人間文化学科メディアコミュニケーションコース、4年)、トーレス エドアール(情報工学科、2年))が制作したCM「自然と心を重ねて」が優秀賞を受賞しました。この作品は公共マナーをテーマとした30秒のCMです。「青春ドラマのような描き方で、エコロジーの気分を表現した。このアイディアは審査員も大うけ、制作者の意図はしっかり伝わった。」と審査委員長からのコメント。

去る3月26日に東京の電通汐留ホールで受賞式が行われ、賞状が贈呈されました。「大学に入ってから、色々な映像制作に携わってきて初めての体験でしたので、非常に嬉しく思います。3年生前期授業「CM制作論」で作成した作



「第5回ACCM学生賞授賞式」の表彰式(東京、電通汐留ホール)

品を土台にリメイクした作品です。ご指導頂いた藤森益弘先生、三宅正太郎先生(メディア情報文化学科)にはこの場をお借りして御礼申し上げます。これからも、ゼミやサークルの仲間達と共にこれに甘んじることなく映像制作に力を注いでいきます」と、制作代表の宮迫さん。

この公共広告CM学生賞は「日本の未来を担う若い世代が、広告制作を通

じて公共広告への理解を深め、社会に主体的にかかわる「公」への意識をはぐくむことを目的」として企画されました。枠にとらわれることなく、社会に向けた新しいメッセージが期待されています。このコンテストに、平成20年度に福山大学は初参加。本作品のほか授業で制作した作品など、全部で8作品応募し、最終選考48作品に、2作品がノミネートされました。他の作品も頑張りましたが、もうひと工夫が今後の課題です。今後の研鑽をご期待ください。三蔵祭



優秀賞受賞作品
「自然と心を重ねて」
1シーン

メディア情報文化学科

教授 三宅 正太郎

福山ばら祭りイルミネーション・コンテスト 最優秀賞受賞

建築・建設学科



最優秀賞 受賞風景&作品

建築・建設学科水上ゼミが、昨年に引き続き今年も、福山「ばら祭り」のプレイベントである「イルミネーションコンテスト2009」に出品しました。今年の作品は、「エコ」をキーワードに「全て空き缶で美しいバラを表現しよう!」をテーマに制作。およそ150本の空き缶で60個のばらを作りました。辺りが暗くなって、1つ1つに仕込まれたシャンデリア用の照明が様々な光の反射と点滅を繰り返すようになると、スタッフ一同その美しさに見とれてしまいま

した。コンテストは開催期間中の一般観覧者による投票をもとに審査され、ばら祭り最終日に審査結果が発表されました。昨年は「優秀作品」でしたが、今年は見事「最優秀作品」に選ばれました。表彰式では、主催者である福山祭委員会会長の羽田皓福山市長より、賞状と副賞が手渡されました。多くの市民の方々の好評を得ることができ、学生一同「もの作り」の楽しさを実感しました。

建築・建設学科 講師 水上 優

経済学の古典

経済学科

経済学をかじったことのある人なら、「比較優位」という言葉を耳にしたことがあるでしょう。ノーベル賞受賞者としても知られる著名な経済学者サミュエルソンを例を拝借して、比較優位の考え方をごく簡単に説明しましょう。

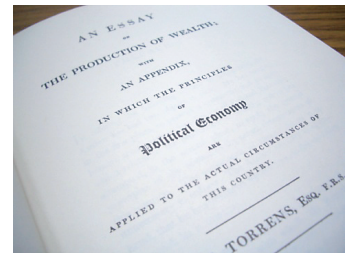
町一番の敏腕弁護士は、町一番のタイピストでもあります。この弁護士は、給料を払って比較的技術の劣るタイピストを雇うか、それともタイプ代を節約して、法律業務の傍ら仕事上の文書を自ら打つか。比較優位の考え方によると、前者の方が効率がよい。弁護士の報酬はタイピストの給料よりもはるかに高い。弁護士は、自らタイプする方が速いとしても、給料を払ってタイピストを雇い、法律業務に専念した方がより多くの報酬を得られるからです。

比較優位の考え方を国際貿易の分野に応用して最初に提唱したのは、一般に、19世紀の経済理論家D.リカードウだと言われています。ですが、同時代の経済学者R.トレンズがリカードウよりも先にこの考え方を述べていたとする説もあります。どちらが比較優位の

原理に対するプライオリティをもっているのか。経済学史の分野では、この問題をめぐって1世紀以上も論争が続いています。

私は、ここで触れたトレンズを中心に、古典派経済学者の理論や学説を専門に研究しています。トレンズは、リカードウや『人口の原理』の著者として有名なT.R.マルサスら、同時代の経済学者と比べるとそれほど知られていません。ですが、経済学者であるとともに、小説家、国会議員、新聞社のオーナー、軍人など、多彩な経歴をもつ彼は、当時としてはそれなりに名の知れた人物であり、彼の経済学を研究することで、古典派経済学研究に新たな視点がもたらされる可能性が十分にあります。

経済学史研究は、対象とする経済学者の著作や書簡などを丹念に読み込むことから始められます。この研究では、原著や自筆の手紙が研究材料として非常に重宝されます。本学には、A.スミス、リカードウ、マルサス、J.S.ミルという、いわゆる「四大古典派経済学者」の著



トレンズ『富の生産』（1821年）扉

作コレクションがあります。このコレクションを特に豊かにしているものは、マルサスがF.ジェフリに宛てた手紙とミルがC.リンドリに宛てた3通の手紙です。マルサスの手紙は、スミス『国富論』の注釈本の出版計画に関連するものであり、この計画に関する史料が少ないだけに、大変貴重なものといえます。ミルの手紙は大学教育に関する見解が記されたもので、これもまたきわめて貴重な史料です。本学は、こうした貴重文書のコレクションを有する重要な拠点校の1つだといえるでしょう。

経済学科 講師 久松 太郎

「いつでも、どこでも、認知リハ」インターネットを通じた認知リハビリテーションの取り組みについて

脳血管障害や頭部外傷などによる脳の器質的損傷は、日常生活や社会生活への再適応に深刻な後遺症をもたらします。このような後遺症は高次脳機能障害と呼ばれ、注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害等の様々な認知障害に起因します。また、脳の損傷後には、うつ、不安、イライラ感といった心理的問題を呈することも多く、このことが障害全体の理解をより複雑なものにしています。

高次脳機能障害に対する支援の中で、障害された認知機能に対するリハビリテーションや心理的問題に対する支援は、認知リハビリテーションと呼ばれています。近年、医療現場では、認知リハビリテーションへの関心が高まっていますが、長期にわたって通院される本人や家族の時間的・経済的負担の軽減が急務となっています。また、本人や家族からは、自宅でも何かしたいのだから、何をしても良いか分からないということを頻りに耳にしますが、それを提供できる画一的なプラットフォームはありません。

そこで私は、認知リハビリテーション課題を配信するサイト「いつでも、どこでも、認知リハ」を開設し(<http://kokorogaku.net/top.html>)、インターネットを利用した、在宅による認知リハビリテーション環境の構築を目指しています。このサイトでは、利用者ごとにリハビリテーション用のページが作成され、課題の実施履歴や成績

が保存されるようになっているため、利用者のペースに合わせてリハビリテーションが実施できます。また、配信する課題は、認知心理学や神経心理学の理論的土台を持つもので、それぞれの障害された機能をゲーム感覚で楽しく訓練できるよう工夫しています。

インターネットを通じて認知リハビリテーションを行うことの利点は、通院にかかる時間や負担を軽減できる点、常に新しい情報を発信できる点、そして、臨床現場からのニーズに合わせて変化し続けることができる点にあると考えています。昨年度までの3年間で現在のところまでを構築しましたが、今後は、より多くの課題を開発し、その効果測定をすると共に、携帯電話等も視野に入れて、持ち運びできるリハビリテーション環境の構築に力を注ぎたいと考えています。また、SNSやコンピュータによるカウンセリングシステムの視点も取り入れながら、心理的問題への対処も可能なサイトに発展させ、高次脳機能障害者の家族に向けても有益な情報が提供できるサイト作りを目指したいと思います。

心理学科 准教授 橋本 優花里



図 「いつでも、どこでも、認知リハ」サイトにおける認知リハビリテーション課題の例

工学部機械システム工学科 学長表彰を受ける

～自動車整備士試験全員合格！～



福山大学分教場整備技術講習閉講式の様子

2009年3月22日(日)に平成20年度第2回自動車整備技能登録試験(学科試験)が実施され、二級ガソリン自動車整備士試験(28名受験)並びに二級ジーゼル自動車整備士試験(13名受験)に本学受験者の全員が合格するという快挙を挙げました。この結果を受け、本学科の学生全員合格に向けての教育・指導が評価され、4月10日(金)に牟田学長から表彰されました。

自動車整備士の国家資格には一級、二級、三級がありますが、自動車整備事業では一級又は二級整備士の有資格者が必要であり、二級整備士を取得する

メリットは高いものとなっています。

資格取得には学科試験と実技試験に合格する必要がありますが、福山大学では学内の自動車実習工場(32号館)が自動車整備士養成施設(福山大学分教場)になっており、そこで規定の整備技術講習を修了すると実技試験が免除されます。そして卒業後に学科試験である登録試験に合格すると自動車整備士資格が取得できます。

本学科では技術講習とは別に、試験対策として試験日直前まで高いモチベー

ションを維持して頑張れるように試験直前講座を実施していますが、これが良い成果につながったものと思われます。

4月に来校した卒業生達も「頑張って良かった」「合格できて社会人として気持ちよいスタートができました」と嬉しそうに話してくれました。今後とも全員合格が維持できるように指導していきたいと思います。

機械システム工学科 助手 山下 稔



平成21年度科学研究費補助金交付決定一覧

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★特定領域研究

◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授
枯草菌炭素代謝制御ネットワークの物質産生系への有効活用 (400万円)

★基盤研究C

- ◎無漏田 芳信 工学部 教授
従来型特養へのユニットケア普及のための住環境改善マニュアルに関する研究 (70万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授
P300による虚偽検出の実務導入に向けた諸問題の検討 (90万円)
- ◎小野 太幹 人間文化学部 准教授
非線形偏微分方程式に対するポテンシャル論的研究 (70万円)
- ◎福長 将仁 薬学部 教授
ミトコンドリアゲノム解析によるダニ類の系統と進化の解明 (110万円)
- ◎岩本 博行 生命工学部 教授
デンプン糖化工程の効率化をめざした枝切り酵素の構造機能解析と機能改変 (90万円)
- ◎日比野 俐 薬学部 教授
MW照射下電子環状反応による生理活性ベンゾフェナンスリジン類の新規合成法の開発 (110万円)

- ◎大川 秀郎 生命工学部 教授
残留性有機汚染物質の監視と汚染浄化におけるバイオサーファクタントの利用 (150万円)
- ◎田中 久男 人間文化学部 教授
アメリカ文学における人種と地域から見た階級表象の領域横断的研究 (90万円)
- ◎久保 卓哉 人間文化学部 教授
魯迅をめぐる日本人—新資料の発掘—に関する研究 (170万円)
- ◎日下部 典子 人間文化学部 講師
広島県における幼児の母親を対象としたうつ予防プログラムの実施と効果の検証 (30万円)
- ◎井上 達雄 工学部 教授
統合型変態・熱塑性構成式の一般化と材料パラメータの同定および変態・熱力学解析 (210万円)
- ◎木村 純壮 工学部 准教授
複数通信遅れを考慮する遠隔協調操作と予測制御の研究 (150万円)
- ◎香川 直己 工学部 教授
アイセーフレーザを光源とする空間通信網を利用した温室効果ガス計測システムの開発 (190万円)

★若手研究B

- ◎村上 泰子 生命工学部 講師
C型慢性肝疾患の亜鉛および多価不飽和脂肪酸による病態進展抑制効果に関する研究 (80万円)
- ◎五郎丸 剛 薬学部 講師
抗がん剤バクリタキセルによる過敏反応の発現機序解明と予防薬の探索 (90万円)
- ◎橋本 優花里 人間文化学部 准教授
神経心理学と臨床心理学に基づいた配信型認知リハビリテーション環境の展開と拡充 (110万円)
- ◎廣川 空美 人間文化学部 講師
職場のメンタルヘルスと更年期障害との関連性についての生理心理学的縦断研究 (110万円)
- ◎土井 正好 工学部 准教授
強風時橋樑停泊のためのC P P翼角制御法の開発—一般化最小分散制御の適用— (110万円)

★若手スタートアップ

- ◎飯田 豊 人間文化学部 講師
科学技術コミュニケーションの歴史社会学—科学技術社会論とメディア論の接合に向けて (83万円)

第9回 生命工学部公開授業

～たのしく学ぶバイオと健康～

2001年に始まった生命工学部公開授業。第9回目となる今年は、6月27日から7月25日まで、講義3回、楽しいバイオ実験1回という構成で開催されています。今年のテーマは「たのしく学ぶバイオと健康」ということで、昨年設置されました生命栄養科学科の講師4名と、生物工学科・海洋生物科学科の講師それぞれ1名が、バイオと健康について楽しく、かつわかりやすく話します。

先頃備後地域地場産業振興センターで開催されました第1回目の授業では、生命栄養科学科の菊田教授が「新型インフルエンザとワクチン開発」について、また石井准教授が「メタボ解消！食後高血糖を防ごう」という題でお話をされました。人類の脅威である新型インフルエンザと、人体の胴囲で知るメタボに対して私たちはどのように立ち向かえばよいのか、具体的に例を挙げてわかりやすく解説されました。いずれも身近でホットな話題でしたので、会場からもたくさん質問が出て、なかなか雰囲気の良い授業になりました。

井笠地域地場産業振興センターで開

催された第2回は、海洋生物科学科の北口准教授による「アオコの話」と、生命栄養科学科の倉掛教授による「新エネルギーとバイオマス資源」という環境にまつわるお話を中心とした授業でした。

福山大学社会連携研究推進センターでの第3回目は、生物工学科の佐藤講師による「DNAから見た哺乳類の進化と保全」と、生命栄養科学科の村上講師による「油と脂（あぶらとあぶら）知ってつやつや健康生活」という若い講師陣によるフレッシュな授業でした。

第4回目（本学）は、毎年多くの参加者を集める「楽しいバイオ実験」です。今年は「酵母と遊ぼう！（遺伝子から発酵まで）」、「身近な食品中のブドウ糖濃度を測定しよう！」、「きれいな海藻押し葉づくり」、「動物のかたちの不思議～海洋動物の解剖と標本作り～」、「大丈夫？！あなたの健康度」、「米粉の科学と米粉パンづくり」という6テーマを行います。毎回親子連れから老夫婦まで、文字通り老若男女の皆さんがバイオにいそしむ夏の1日です。今年も多くの



昨年の「楽しいバイオ実験」風景

方がご家族でお申し込みになられていますので、きっと大満足の1日になることでしょう。

本公開授業は、来年で10年目を迎えます。十年一日とも十年一昔と言いますが、バイオを取り巻くこの10年の変化は激しく、21世紀の最初の10年を振り返って、また新たな気持ちで歩みを進めたいと思います。今後どうぞご期待下さい。

生命栄養科学科 教授 岩本 博行

附属水族館がリニューアル

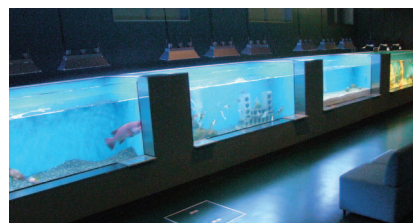
今年1月から改修工事のため休館となっていた因島の附属水族館がリニューアルされて5月1日からオープンとなり、これまで通り無料でさらに充実した海の生き物の展示を楽しんでいただけるようになりました。館内は大型水槽のある展示室が拡張され、新たに幅2.7メートルの水槽が四基とタッチングプールが設置されました。四基の水槽はそれぞれ瀬戸内海の「沖合」「岩礁」「砂浜」「藻場」の生態系をテーマとし、地元の海に住む魚や貝類、海藻の姿が観察できるようになっています。タッチングプールではヒトデやナマコなどの動物に触ることができ、ゆったりと水面を泳ぐコブダイを間近で見ることができます。そのほかの小型水槽では、ヒラメが砂の色によって体色を変える様子や、魚の縞模様の効果がわかるような水槽など、魚の面白い性質が学べるように工夫されたものもあります。水族館は年間6,000名以上の来館者がありますが、オープンした5月の来館者は2500名を上回り、例年の3～4倍となりました。来館者からは「きれいになったね」「広くなったね」との声も聞かれました。子供たちに人気なのはタッチングプールで、通いつめている子も多いようです。



海藻の森の中を魚が泳ぐ「藻場」を再現した水槽

今後ますます多くの方が水族館を訪れ、海の生き物に親しみ、楽しんでいただきたいと思います。

水族館のリニューアルは、海洋生物科学科が中心となって応募した研究プロジェクト「瀬戸内海の生物多様性保全および利用に関する実験生理・生態学的研究」が文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択されたことに伴うもので、しまなみ海域の藻場や干潟に住む生物の生態の解明、魚類種苗放流の野生への影響に関する研究など、特色ある研究活動を展開していきます。新設された四基の水槽は本プロジェクトにおける実験水槽として利用し、水族館をプロジェクトの情報や研究成果を様々な形で一般公開する場としていきたいと考えています。また教育面では、海洋生物科学科のアクアリウム科学コースをはじめとする



瀬戸内海の4つの環境をテーマとした水槽



「機」の魚たち

学生の実験・実習や卒業研究、あるいは学芸員資格の取得に関わる実習等も行っています。新しくなった水族館

に是非足を運んでみてください。

海洋生物科学科 講師 山岸 幸正

福山大学TVCM完成

ヒューマノイドロボット「chroino クロイノ」と本学学生が共演

今年度、福山大学では、ロボットクリエイター高橋智隆先生(本学客員教授)製作のヒューマノイドロボット「クロイノ」を、イメージキャラクターとして起用しました。これは、牟田泰三学長の発案になる新しい広報の試みで、本学の姿勢を示すイメージとして学内外の人々に親しみを持ってもらいたいとの意向です。

これについて、学長は学内向けのメール便「学長短信」で、「人型ロボットの研究を突き詰めていけば『人間とはいったい何だろうか』という究極的な疑問にも行き着くでしょう。『人間性とは



イメージキャラクター「クロイノ」と学生によるCM撮影風景

一体何だろうか』という問いかけにも、思いがけないところから考究の手がが

りをつかむことができるかも知れません。」とし、それが福山大学の建学の精神「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」と「素晴らしい共鳴をしているように思えます。」と述べています。

このたび、クロイノと本学学生がTVCM(15秒)で共演し、そのフィルムが完成しました。かわいいクロイノと学生達の表情が楽しい一コマです。7月10日から中国地方5局で一斉に放映されています。どうぞ、ご期待下さい。

広報委員長 青木 美保

第1回さつきコンサート開催！ 人間文化学部

人間文化学部では、これまで4年間4月に開催してきた「お花見コンサート」を、今年度からは開催日を5月とし、装い新たに第一回「さつきコンサート」を開催しました。

第一部のコンサートでは、本学吹奏楽部・管弦楽団の合同演奏と、「備後シャンソンを楽しむ会」の方々に出演をお願いし、珍しい組み合わせでのコンサートとなりました。

第二部は、3学科の学生の研究発表を行いました。心理学科からは「ギャンブリング行動と性格特性との関連について」・「色彩選択における色彩と心理・環境状態との関連―缶飲料を用いて―」などの現代的なテーマで発表、人間文化学科からは重迫ゼミから新しい研究分野である「遊具の研究」、近現代文学ゼミから「井伏鱒二の小説『黒い雨』と小島村一備後から世界への叫び」と題

する発表を行いました。メディア情報文化学科生制作の記録ビデオも同時上映。この発表は地元からの依頼で、8月6日に小島の平和集会で再度行うことになっています。

また、今回の発表のとりは、公共広告機構のCMコンテストで優秀賞を受賞したメディア情報文化学科生の受賞作品「自然に心を重ねて」の紹介で、大いに盛り上がりました。幕間には、人間文化学部一年生の後期授業での制作になるクイズ「人間文化検定講座」を行い、会場では、学科活動のパネル展示、及び美

術部の展示を行いました。

アンケートに答えた高校生からは「初めて聞いた」シャンソンが「とてもよかった」、学生の発表について「どの発表もとても興味深く」、「すごくよかった」との感想を得ました。

人間文化学部 教授 青木 美保



第1回さつきコンサート風景

薬学部新校舎(34号館)建設

―充実した6年制薬学教育のために―



薬学部新校舎(34号館)の完成予想図

平成21年5月14日に宮地尚理事長、牟田泰三学長、塩見浩人薬学部長列席のもと、薬学部新校舎(5階建て、総延べ床面積7973㎡)の起工式が執り行われました。この新校舎には講義・実習施設と福山大学附属図書館薬学部分館が入る予定です。

平成18年度より、薬学部の教育年限

が4年間から6年間に延長されました。この教育制度改革は、(1)医療技術の高度化や医薬分業の進展等に対応して、医薬品の安全使用を担う質の高い薬剤師が求められている、(2)このような社会的要請に応えるためには、大学において、医療薬学や実務実習を充実した教育課程を実施し、臨床に係る実践的な能力を培うことが必要である、とのことから行われたものです。

このような経緯から、6年制薬学教育課程では、4年生時に実務実習の事前学習を行い、共用試験(CBT;コンピュータを使った全国共通の試験とOSCE;薬剤師として必要な技能や態度をチェッ

クする実技試験)に合格した学生が、5年生時に病院と保険薬局で合計5ヶ月間の実務実習を行うという制度が導入されました。今回の新校舎は、実務実習の事前学習やCBT、OSCEに対応するための教育施設として建設されるもので、コンピュータ室、モデル薬局、クリーンルームなどが設置される予定です。

福山大学薬学部は、日本で初めて「臨床薬剤師の養成」を掲げて創設された薬学部で、これまで先進的な医療薬学教育を実施してきました。その伝統と実績をふまえ、さらに飛躍するための教育の場となる薬学部新校舎の完成を、教員も学生も心待ちにしています。

薬学部 准教授 田村 豊

施設のご案内

心身の健康管理のお手伝いをしています！

保健管理センター

【カウンセリング相談の紹介】

当センターでは、学生からの種々の相談に対して、心理カウンセラーが常駐して対応しています(専任1名、非常勤1名体制)。



カウンセリング室

相談内容は、心の不調に関してだけではなく、学生生活や進路などに関する悩みごと全般が含まれます。また、必要に応じて、家族や他機関と連携しながら学生をサポートしています。

心理カウンセラー 中平 大輔

【春期健康診断の報告】

4月8日から6日間、1,2,4年次生(薬学部のみ全学年)と大学院生を対象に実施しました。1年次生83.9%, 2年次生73.1%, 4年次生90.9%, 大学院生

86.7%, 全体で82.7%の受診率でした。各自の健康管理の指標として積極的な受診をしてもらいたいと思います。また、血圧の高い学生が増加傾向にあり、食生活の見直し等を含めて指導を行う機会が増えています。生活習慣を考え就職までに体調を整えることは重要だと思います。

教職員健康診断は5月19日から3日間実施し、受診率は79.7%でした。

健康に対する意識が高まっていくように動機付けができたらと思います。

看護師 金田 静

図書館の新サービス

図書館

昨年度から図書館システムが一新したことにより、利用者への配信サービスが一新しています。新システムでは多人数の授業でも蔵書検索等の基本サービスが受けられるだけの十分なレスポンスが確保できました。また、従来は指定の用紙に記入し、担当者へ手渡す等、手続きが面倒で、利用の少なかった本の予約、購入希望、他大学への文献複写依頼や、自分の貸出状況調査といったサービスが自室のネットから、簡単に利用できるようになりました(Myメニューへの登録が必要)。こうしたことで、図書館HPのアクセス数も昨年、最大で6,000回/月だったのが、今年に入って平均9,700回/月と大幅な増加をみせています。また、紀要委員に協力いただき、

本学発行の学術紀要論文が国立情報学研究所(NII)提供の「論文情報ナビゲーター(CiNii)」<http://ci.nii.ac.jp/>から、インターネットで公開され、常時PDFで入手できるようにもなっています。



学生・研究者の研究活動支援が大学図書館の使命である以上、必要な学習場所の供給、資料の収集・充実及び、各大

学との連携(相互協力)、学習相談(レファレンス)等のサービスの提供が十分に行われるよう、図書館職員一丸となって日々勉強しています。また、図書館では学生さんからの新風(意見)を募集しています。どんなことでも結構です。

ご意見をお聞かせ下さい。

(library@libaxp.fulib.fukuyama-u.ac.jp)

○開館時間について

開館時間	本館	分館
平日	8:30~19:30	8:30~19:30
土曜日	8:30~16:30	8:30~15:00

○貸出について

	1~3年生	4年生	院生
冊数	3冊	5冊	10冊
貸出期間	2週間	1ヶ月	1ヶ月

積極的に海外留学しよう！

国際センター

今年は、新型インフルエンザの影響で、夏季英語研修も、夏季中国語研修も取りやめとなってしまったことは残念です。カリフォルニア大学リバーサイド校での英語研修はすでに19年の歴史があり、対外経済貿易大学での中国語研修は既に5年の歴史があります。

この4月から発足した国際センターは、これまでの留学生センター等、国際関係の学内組織を統合したものであり、留学生部が、海外留学を希望する学生に対する修学上及び生活上の指導助言を担当しています。

協定校に留学すれば、留学期間も本学在学期間として計算されますので、たとえ1年間留学しても、所属学部の卒業要件を満たす限り、4年間で卒業することができます。米国留学は多額

の費用がかかるのが問題ですが、日本学生支援機構の短期留学推進制度という便利な制度があります。この制度を利用して、平成19年度以降、経済学部からすでに2名の学生が留学しており、今年度も経済学部から3人目の学生が留学予定です。更に、現在、2名の追加枠を申請中です。この制度では、月額8万円の奨学金が支給され、留学期間は1年までであり、学部は問いません。留学期間中は、休学扱いとなり、本学の授業料は半額となります。

このほか、中国の協定校への交換留学制度があります。平成17年度以降、対外経済貿易大学に6名、貴州師範大学に1名留学しています。更に、今年度は上海師範大学に1名留学予定です。学部別には経済学部7名、人間文化学

部1名となっています。交換留学は先方授業料が免除され、留学中の本学授業料が半額になり、更に先方大学から若干の補助もあります。中国への交換留学は、かなり枠があります。

国際センター長 大久保 勲



第4回高校生CMコンテスト

人間文化学部 メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、今年度も「高校生CMコンテスト」を開催します。今年のテーマは「全国にアピールしよう！あなたのまちの魅力」。他の地域の人には知り得ない地元の魅力で、その「まち」に行きたくなるようなCMを考えてもらいたいと思います。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映像作品の部」は、表現活動の成果を示す好機となるでしょう。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」や、写真やイラストに短い

フレーズを添える「広告コピーの部」は、映像制作の設備を持っていなくても、参加していただくことができる部門です。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/media/cm2009/>
お問い合わせは、人間文化学部事務室
TEL084-936-2112(内線2223)もしくは、
cm2009@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで。

三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定しておりますので、どうぞご期待下さい。



「第3回高校生CMコンテスト」の表彰式

第2回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部 人間文化学科

活字離れが進んでいる現代だからこそ、高校生たちに自分が読んだ本の感動を伝えて欲しい。人間文化学科では、昨年度こうした目標のもと、第1回「友だちにすすめたい本」コンクールを開催しました。その結果、24の高校から1193篇の作品が寄せられ、幸いにも最初のコンクールを成功裡に終えることができました。

今年度も2回目となるコンクールを開催しますので、みんなに知ってもらいたい本がある高校生は、是非作品を応募してみてください。

人間文化学科 准教授 引野 亨輔

「本の対象」 小説、エッセー、童話、詩など、ジャンルを問いません。

応募資格 高校生

応募方法 所定の用紙に400字以内

審査委員 牟田泰三(本学学長、審査委員長)、
磯貝英夫(広島大学名誉教授)、他、本学教員

表彰 個人賞 最優秀賞 賞状・副賞(図書カード1万円分)
優秀賞 賞状・副賞(図書カード5千円分)
佳作賞 賞状・副賞(図書カード1千円分)

学校別審査員賞 各校5篇 賞状
団体賞 学校賞2校 賞状・トロフィー

発表 入賞作品および応募作品の一部は、冊子として印刷し出版します。

応募先 〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学 人間文化学部 人間文化学科

「友だちにすすめたい本」コンクール係

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc>

お問い合わせは 人間文化学部事務室 ☎084-936-2111(内線2222)
もしくは、sigesako@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで



“より保証人の声を反映して”『教育懇談会開催』

開学以来実施している教育懇談会。今までの実績と教務課で集計したアンケートを基に大学を拠点に東は名古屋、西は今年度は鹿児島までと西日本を中心に、開催します。好評を博している担任、学科教員との懇談、土日開催等の実施。教務、学生、就職等の全体説明。その全体説明も本学会場では学部別に実施し、学部の教員と密に触れ、施設をご覧いただけるようにしております。個別懇談では各学生の前期までの成績・単位取得状況、今年の履修科目への出席状況等を保証人と教員が膝を交えて懇談します。

学務部 教務課

○日程 開催地:会場

○8月22日(土)

姫路:姫路キャッスルホテル
鹿児島:ブルーウェーブイン鹿児島

○8月23日(日)

広島:広島ガーデンパレス
福岡:福岡ガーデンパレス

○8月27日(木)

岡山:まきび会館

○8月28日(金)

名古屋:名古屋ガーデンパレス

○8月29日(土)

大阪:大阪ガーデンパレス
松江:松江東急イン

○8月30日(日)

高松:高松東急イン
松山:松山東映ホテル

○9月1日(火)

小郡:山口グランドホテル

○9月5日(土)・6日(日)

福山:福山大学

保証人の皆様、懇談会場へ足をお運び下さい。もっともっと声を聞かせ下さい。

福山大学公開講座「グローバル時代を迎えた地域と私たち」

平成21年度は、標記統一テーマのもとに5話構成で、9月から10月にかけて福山・三原の両会場で開催します。

人・もの・金・情報の移動にボーダーがなくなり、政治、経済・産業からスポーツまで、広範な分野で世界のシステム化が進展しています。アメリカのサブプライムローン破綻や、メキシコの新型インフルエンザなど、世界の片隅の出来事が世界中に影響し、その対策もまた世界中が連携して当たるといふ、グローバル時代を迎えました。

本講座で、グローバル化の進展が私たちの地域や家庭にどんな変化をもたらすのかについて、理解を深めていただこうと思います。

公開講座委員長 井上 矩之

公開講座の概要

第1話「サブプライムローンと私たち」

富士 彰夫(経済学部教授)

福山9月19日(土)、三原9月16日(水)

第2話「日中友好の架け橋」

魯迅と後月郡高屋町丹生との関係」

久保 卓哉(人間文化学部教授)

福山9月26日(土)、三原9月30日(水)

第3話「エコとエネルギーの話」

栗延 俊太郎(工学部教授)

福山10月3日(土)、三原10月7日(水)

第4話「幹細胞と再生治療」

ー人類2000年の夢ー

山口 泰典(生命工学部教授)

福山10月10日(土)、三原10月14日(水)

第5話「恙なくお過ごしでしょうか」

ー感染症のグローバル化ー

福長 将仁(薬学部教授)

福山10月17日(土)、三原10月21日(水)

国際交流瓦版

◎学術教育交流協定校である、上海師範大学(中国、上海)から陸建非副学長ら関係者が来学。両大学との交流協定に基づき、工学部における学生交流について協議。

(2月8日～3月9日)

◎于博泓さん(情報処理 2年 中国)が平成21年度(財)平和中島財団奨学生に採用決定(3月3日)

◎福山市立駅家小学校へMingchua Tatsaneeさん(人間文化 4年 タイ)、Muthoni Eric Muneneさん(国際経済 1年 ケニア)、張艶慧さん(国際経済 1年 中国)国際理解講師派遣。各国の言葉・文化や生活事情等について講義。

(3月9日)

◎平成20年度卒業式で学部留学生32名、大学院修了生1名が巣立った。趙文岐さん(国際経済 4年 中国)が「学長賞」を受賞。

(3月20日)

◎機構改革に伴い、国際センター設立。センターは国際交流部、留学生部、北京教育研究センター部で構成。

◎学術教育交流協定校である、對外経済貿易大学(中国、北京)から祁曉明客員講師を平成21年度4月から1年間、招聘。経済学部で中国経済事情や中国語を講義。

◎内海生物資源研究所に平成21年度4月から1年間、Blanco Gonzalez Enrique特別研究員着任

◎對外経済貿易大学との交換留学生として、本学から辻山啓さん(経済 2年)と鍵川充昭さん(国際経済 2年)が4月から9月まで留学

◎Lkhagvasuren Lkhagvatsendさん(人間文化 3年 モンゴル)が学術教育協定校カリフォルニア大学リバーサイド校(アメリカ)へ4月から12月の間、留学

(4月1日)

◎上海師範大学(中国、北京)から王軍彦外国語学院日本語学科長等、来学。上海師範大学からの編入学生について、両大学の単位読み替えについて意見交換。(4月8日)

◎'09年度留学生会長に斉超蘭さん(人間文化 3年 中国)信任 (4月16日)

◎内蒙古日本語職業学院の張宝文理事長が来学。牟田泰三学長、大久保勲国際センター長と本学との学生交流について協議。

(4月24日)

◎留学生会主催で新入生歓迎会を開催。新入生を囲んで歓談。留学生は6ヶ国(中国、



モンゴル、韓国、ベトナム、ケニア、ペルー)、183人。(4月25日)

◎戦前に上海で内山書店を営み、鲁迅を支援し、日中友好の懸け橋となった、内山完造先生没後50周年記念事業が井原市芳井生涯学習センターで開催され、大久保勲国際センター長、久保卓哉教授の引率により、本学から留学生が多数参加。

(5月17日)

◎財団法人熊平奨学文化財団、平成21年度奨学生との懇親会に大久保勲国際センター長と当財団奨学生の于秀英さん(国際経済 4年 中国)、秦瑩瑩さん(国際経済 4年 中国)、王琦さん(国際経済 4年 中国)が出席。(5月26日)

◎神石高原町立三和小学校のこども国際教室で苗培さん(国際経済 4年 中国)、朴聖雨さん(国際経済 2年 韓国)が講師。母国の紹介、学校生活、遊び等について全校生徒と交流。(5月27日)

◎府中市教育委員会主催の府中市生涯学習センター国際理解講座「まず一杯のコーヒーから」で本学留学生が毎週金曜日に5月29日から7回にわたってゲスト講師。第1回には、高校生の時、日本の高校へサッカー留学した、朴聖雨さん(国際経済 2年次生 韓国)。韓国の徴兵制等についてフリートークキング。(5月29日)

(学務部 国際交流課)

学友会短信

【陸上競技部】

●5月15日～17日 第63回中国四国学生陸上競技対校選手権大会
3000mSC 優勝 岡田 泰平(経済3年)
5000m 3位 村田 総(建築・建設1年)
※3000mSCで優勝した岡田泰平選手は9月に行われる天皇賜杯第78回日本学生陸上競技対校選手権大会の出場権を獲得しました。

【硬式野球部】

●4月4日～5月17日
平成21年度中国六大学野球春季リーグ戦第4位 ベストナイン
指名打者 稲沢 航平(経済3年)

【サッカー部】

●5月17日～31日 2009年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会 優勝
※2009年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会で優勝したサッカー部は8月に行われる総理大臣杯全中国大学サッカートーナメントの出場権を獲得しました。
●6月28日～8月31日 2009年度全広島サッカー選手権大会 出場

【剣道部】

●5月15日～5月16日 第56回中国四国学生剣道選手権大会 出場
●5月23日～5月24日 第54回西日本学生剣道大会 出場

【柔道部】

●5月16日 第41回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 出場
●5月31日 平成21年度中国四国学生柔道優勝大会 出場

【剣道同好会】

●5月13日 第5回世界剣道選手権大会選手最終選考会 出場
大本 雄介(情報4年)
※第5回世界剣道選手権大会選手最終選考会に出場した大本雄介選手は8月に行われる、第5回世界剣道選手権大会に出場します

【ボート部】

●4月26日 第64回広島レガッタ兼第53回中国高校ボート選手権広島県予選会 出場
●5月1日～5日 第62回朝日レガッタ 出場

【軟式野球部】

●5月24日～29日 平成21年度西日本地区学生軟式野球1部リーグ戦 出場

【弓道部】

●4月24日～26日 第42回中国学生弓道大会 出場
●7月5日 第16回弦道弓道大会(本学にて)

【ソフトテニス部】

●5月18日～22日 第31回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 出場
●6月14日 平成21年度広島県知事杯 学生ソフトテニス大会 出場

【バスケットボール部】

●4月11日～5月24日 2009年度広島県学生バスケットボール選手権大会春季リーグ戦 出場

【YRC同好会】

●4月12日～ 松永駅周辺のゴミ拾い
●5月17日 第46回「ゼノ」創立記念 うんどう祭 ボランティア

【学友会執行部】

●5月15日 春季学長杯争奪球技大会
●6月5日 春の献血キャンペーン

(学務部 学生課)

平成22年度 入学試験の概要

平成22年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学の卒業生又は在学生(留学生は除く)です。この他、指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験(第1期)	(エントリーシート提出期間) 平成21年7月21日(火) ～8月5日(水)	平成21年9月7日(月)	平成21年9月10日(木)
A O 入学試験(第2期)	(エントリーシート提出期間) 平成21年8月31日(月) ～9月16日(水)	平成21年10月17日(土)	平成21年10月20日(火)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成21年10月15日(木) ～11月2日(月)(消印有効)	平成21年11月7日(土) 平成21年11月8日(日)	平成21年11月12日(木)
推薦入学試験(B日程)	平成21年11月25日(水) ～12月8日(火)(消印有効)	平成21年12月12日(土)	平成21年12月16日(水)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成22年1月5日(火) ～1月27日(水)(消印有効)	平成22年1月31日(日) 平成22年2月1日(月) 平成22年2月2日(火) 平成22年2月3日(水)	平成22年2月8日(月)
前期入学試験(B日程)	平成22年2月4日(木) ～2月15日(月)(消印有効)	平成22年2月19日(金)	平成22年2月23日(火)
後期入学試験	平成22年2月20日(土) ～3月10日(水)(消印有効)	平成22年3月14日(日)	平成22年3月17日(水)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	平成22年1月5日(火) ～1月27日(水)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成22年2月13日(土)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	平成22年2月20日(土) ～3月10日(水)(必着)	個別学力試験は課さない	平成22年3月17日(水)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

- A O入試(第1期・第2期)【福山(福山大学)】
- 推薦入試(A日程) 【11/7・11/8 福山(福山大学)・広島・福岡・岡山】
【11/7 鳥取・高知・徳島・大阪】【11/8 小郡・松江・松山・高松・神戸】
- 推薦入試(B日程) 【福山(福山大学)・広島・小郡・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】
- 前期入試(A日程) 【1/31～2/3 福山(福山大学)・広島・小郡・福岡・岡山】
【1/31 鳥取・徳島・京都】【2/1 米子・高松】【2/2 高知・静岡】
【2/3 松山・神戸・名古屋】【1/31・2/1 大分・長崎・東京】
【2/2・2/3 松江・鹿児島・熊本】【2/1・2/2 大阪】
- 前期入試(B日程) 【福山(福山大学)・広島・岡山】
- 後期入試 【福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記 今号は、昨年度就職率の特集を組みました。96.3パーセントは、大学ランキング(読売新聞社『就職に強い大学』)によれば、全国8位の成績です。誇れる本学の特徴と言えます。その他、イメージキャラクターとして採用されたロボットと本学学生共演のCM撮影が行われるなど、本学の活動が広がって来たことが伺われる紙面となりました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>